

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
臨床心理学		(リ.理.作) 選択 (人-25) 必修	2	(リ) 2 (人-25) 1	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi		水曜日 11:40~12:40		
授業の目的・概要	<p><目的>臨床心理学の視点から人の心や行動を理解することを目的とする。ストレスや対人関係のあり方など、心の悩みや問題を抱えた人の心理的状态を理解し支援するための基本的な考え方やコミュニケーション力を学ぶことを目的とする。<概要>臨床心理学の基本的な考え方について講義し学びを自分の体験と結びつけられるように、個人ワークやグループワーク等を行う。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	分からないことをそのままにせず授業の中で解決していこう。					
教科書	教科書は使用しない。毎回資料を配布する。					
参考書	面白いほどよくわかる！臨床心理学/監修:下山晴彦/西東社					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	人を尊重する倫理性と心の悩みや問題を抱えた人への深い理解を身につけている。			HSU(2)、HC(1)、(3)		
②	臨床心理学の歴史及び体系について理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)		
③	臨床心理学の代表的な基礎理論について理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)		
④	臨床心理学的な援助技法について理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)、(6)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーションを行う。 臨床心理学の概要について学ぶ。	講義	授業内容の復習を行う。		4	
2	臨床心理学の歴史について学ぶ。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
3	自分の心を守ること、人を支えるためのかわり方について学ぶ。～臨床心理学の定義、基本的な理念・体系。	講義	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
4	「無意識」の働きについて学ぶ。 ～精神分析的アプローチ	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
5	行動や考え方を変えることについて学ぶ①。 ～行動論・認知論的アプローチ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
6	行動や考え方を変えることについて学ぶ②。 ～行動論・認知論的アプローチ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
7	ありのままの自分を理解することについて学ぶ。 ～ヒューマニスティック・アプローチ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
8	関係の中で人を見ることについて学ぶ。 ～システムティック・アプローチ	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
9	集団の中で成長することについて学ぶ。 ～グループ・アプローチ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
10	地域の中でみんなで問題を解決することについて学ぶ。① ～コミュニティ・アプローチ	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
11	地域の中でみんなで問題を解決することについて学ぶ。② ～コミュニティ・アプローチ	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
12	言葉によらない方法で人を理解することを学ぶ。① ～非言語的アプローチ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
13	言葉によらない方法で人を理解することを学ぶ。② ～非言語的アプローチ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
14	日本生まれの心理療法について学ぶ。 ～森田療法、内観療法、動作法。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。		4	
15	総括を行う。	講義	これまでの授業内容を振り返り各自整理する。		4	
試	定期試験は行わない。 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	5	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートを提出する。講義内容を理解していること、自分で考えたことを自分の言葉で書かれていること、文章表現は適切さ等で評価する。テーマは授業中に伝えることとする。				レポートはコメントを伏して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションペーパーの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらおう。ワークへの積極的な取り組みも併せて評価する。				次回の講義の始めに、前回のリアクションペーパーについてのコメントし解説する。ワークについては、実施後コメントを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	教育相談室及び発達支援、クリニック等の現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 25 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	専門性と現場経験を活かして、臨床心理学に関する基本的知識を分かりやすく教授する。						
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						